

大阪府歯科保険医協会 会
 発行人 和田 武
 大阪市浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 2021年第1386号 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 (毎月5、15、25日発行) ●1977年5月23日第三種郵便物認可

75歳以上の窓口負担増について、協会に寄せられた切実な声

75歳以上
窓口負担

「2割になれば受診我慢」

政府は切実な声を受け止めよ

コロナ禍で国民が苦しんでいるのに、医療費の負担増とはどういふことか。政府が5日に閣議決定した75歳以上の窓口負担増に批判の声が相次いでいる。負担増問題を知らせる協会の「クイズで考える私たちの医療」キャンペーンには、「病院へ行きたくても我慢しなければならぬ」「政治は何のためにあるのか。生命を守れ」など4000件を超える切実な声が寄せられている。

病気になるれない

政府は、年収200万円以上の後期高齢者を対象に窓口負担を1割から2割に引き上げる医療制度「改革」法案を閣議決定した。今国会での成立をめざし、2022年度後半に実施するとしてい

「多くの方が日々の暮らしで大変な思いをされているのに本当に腹が立ちます。政策を見直してもらいたいものです」「福祉や社会保障を削って、GOTOや自

負担阻止へ署名

2割負担になれば後期高齢者世帯は深刻な影響を受ける。政府の資料では一人あたりの平均負担増額は年3万4000円。なかには年10万円を超える人も出てくる。

署名にご協力をお願いします

75歳以上
医療費窓口負担2割化撤回を
求める請願署名

氏名
住所
〒

追加分25万円の申請を

感染拡大防止支援事業の追加分(25万円)の申請が4日に始まった。2020年12月15日〜21年3月31日までの経費が対象で、2月28日までに申請する。厚労省HP(QRコード参照)から申請書をダウンロードして提出する。「手書き」申請書を希望の方は協会まで(Tel.06-6568-7731)。

8面掲載
高点数個別指導
21年度実施せず



ご意見欄(クイズの感想や医療費負担についてのご意見、国への要望など)
 コロナ禍で国民が苦しんでいるのに、福祉や社会保障を削って、GOTOキャンペーンや、自助(かわらない政治)って何!? 年金は削られ、介護保険は高く、利用しても毎月高いのに、生きてゆけません。政治は何人のためにあるのですか? 生命を守れ!

ご意見欄(クイズの感想や医療費負担についてのご意見、国への要望など)
 病気になるれないですか? 年齢が高い(83才)なので、元気で長生きしたいので、体には気をつけ、栄養をよくとっていきつくりたいです。元気で長生きする為に医療費負担を少なくして下さい。

マイナンバーと「超」監視社会

「信用スコア」という「サービス」を存じだろるか。基本的には、たとえばスマホやクレジットカードで買い物をすると、代金が金融機関の口座から自動的に引き落とされたかどうかの情報がデータベース化され、その人物の信用度が数値化



ジャーナリスト・斎藤貴男

情報集め人物を「採点」

と組み合わせ、AI(人工知能)によって解析・数値化することも可能。性格や愛国心までこのシステムで世界の「最先端」を走っているのが中国である。各人の信用スコアは融資における与信審査はもとより、企業の採用活動や教育、保険、婚姻など、あらゆる領域で活用される。友人関係や読書歴、性格、思想傾向、愛国心や道徳心の度合いまでが採点の対象となるというから恐ろしい。政府にとって面倒な思想の持ち主だと判

断されれば、人生のあらゆる局面で不利な扱いを受けることもある。システムを運用する側は、各種の情報を、あらゆる手段を駆使して収集する。SNSなどで本人が積極的に発信したものがあれば、街中の顔認証機能付き監視カメラ網から得られるものもあって、一つひとつはバラバラだが、すべては「公民身分番号」によって名寄せされ、運用側が利用しやすいように加工されていくわけだ。中国は共産主義国家だから、というだけで説明

今号同封
指導対策テキスト
「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト」を発行しました。今号に同封していますので、ご活用ください。

歯界
新型コロナ
のたたかいは長期にわたるなか、「こ

その一つが「献血」だ。毎日1万3千人の協力が必要とされているが、外出自粛で足が遠退いた。輸血を要するのは手術や出産、交通事故などの緊急時だけではない。抗がん剤の副作用や白血病で定期的な輸血しなければならぬ患者も多い。人工血液の研究は1960年代から続くが、赤血球と血小板の開発が壁になっている。凝固・血栓という課題をクリアできなければ実現は難しいという。iPS細胞から作った血小板を輸血する臨床研究は昨年始まったばかり。成否はいかに。血液不足の克服は市井の人々の良心が頼りだが、コロナ禍で「血路」を開くのは政治の責務である。政府は国民の「膏血」を絞るようなことはせず、感染症対策に「心血」を注いでもらいたい。補正予算でGOTOに1兆円以上も積み増し、出血大サーブリスをしている場合ではない。(Y)